

◎レンドルミンD錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プロチゾラム brotizolam 【分類】 睡眠導入剤 [短時間型]

【単位】 ◎0.25mg/錠

【常用量】 1回 0.25mg

【用法】 分1 [眼前又は麻酔前]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (10)

【特徴】 短時間作用型睡眠導入剤。徐波睡眠やレム睡眠への影響が少ないため、自然に近い睡眠が得られるとされる。筋弛緩作用は弱い。

【主な副作用・毒性】 依存性、禁断症状、もうろう状態、一過性健忘、奇異反応、運動失調、炭酸ガスナルコーシス、嘔吐、血圧低下、過敏症など

【吸収】 $K_a=0.069/\text{min}$ (1)

【F】 70% (1)

【 t_{max}] 1.0~1.5hr (1)

【代謝】 肝で CYP3A4 により代謝され、メチル基の水酸化体及びシジアゼピン環の水酸化体に変換される (1) 代謝物の活性は弱い (1)

【排泄】 腎 (1) 代謝物として 65% 腎排泄 (1) 【CL】 113mL/min [iv] (1)

【 $t_{1/2}$] 3.6~8hr (1)

【蛋白結合率】 90% (1)

【Vd/F】 0.66L/kg [iv] (1)

【MW】 393.69

【透析性】 蛋白結合率が高いため、透析によって除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 10100 [クロロホルム/水系, pH7] (1) 【pKa】 2.1 (1)

【相互作用】 CYP3A4 誘導剤により代謝が促進され作用減弱の可能性 (1) レパグリニドと併用して低血糖 (Khamaisi M:Diabet Med 29: 1214-5, 2012 PMID: 22414218)

【効果発現時間】 15~30min (1)

【効果持続時間】 7~8hr (1)

【更新日】 20180428

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。